

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
18・5・6(土)
南NEWS no 18

O t a n i ' s M o t t o

大リーグエンゼルス・大谷選手の高校時代からの座右の銘は

“先入観は可能を不可能にする”

だそうです。

英語で

“P r e c o n c e p t i o n
l e t p o s s i b l e
b e i m p o s s i b l e .

です。

大谷選手は、練習や試合前に、これはできないだろうな、あのチームには勝てないだろうなと思い込んでしまうとできることもできなくなってしまうと考えてチャレンジしてきたのでしょね。

南のみなさんも参考にしたいですね。

b y 南のアンパンマン



	2018年		5月		5日		場所:		文化大					
	のぞみ君	とあ君	ゆうひ君	ゆうと君	そうた君	りょうた君	りょうと君	しんせい君	てっぺい君	りんべい君	ひかる君	ちかこさん	はやと君	
アウトサイドフック			○			○		○			○			○
ドラッグバック														
ストップターン														
ライトアングル														
ステップオーバー							○							
クライフターン			○											
ストップ・ゴー														
椅子の形														
マシューズ														
V字							○		○		○			
ダブルタッチ							○		○					
スモールブリッジ														
ピックブリッジ														
シザーズ														
ロコモティブ														
マルセイユカラーレット														
金田ダンス														

上の表を見て泣きたくなりました。“ドリブルの南”なんてとても言えません。“南を卒業した子はみんなドリブルが上手い”とよく言われてきたのですが上の表ではとても言えませんね。

5月5日(土)のU-12の試合。OKの選手の何人かはドリブル突破をいつも狙っていました。前の相手を抜けばシュートができる、クロスが入れられるという状況では必ず勝負してシュート、クロスを入れていました。

矢上が20年ほど前に東京都サッカー協会から派遣された2名の一人として、福島のJビレッジで3泊4日の研修で講義を受けた山本昌邦氏(アテネオリンピック男子サッカー監督)・大好きな解説者がこう言っています。

「ゴールの8割はペナルティエリア内のシュートです」

ペナまでドリブルで持ち込もう！くさびからのワンツーでペナに入ってシュートを狙おう！といつも言っています。

矢上は午後練でその力をつけようと言いつつも、子ども達にその練習をさせています。パス&ムーブからの突破で得点を狙える子を育てること、ドリブルやターンの個人技で得点を狙える子を育てたいということで午後練を続けてきたのです。

この頃、午後練の出席率がよくありません。以前は中心選手が休むなんてことはありませんでした。その中途半端な気持ちが試合に出ましたね。

でも、気持ちを切り替えて、自分たちがどのようなサッカーをしたいのかを確認して、目指すサッカーを創ろうと努力すれば勝てるチームになります。

5月5日(土)フロンターレ戦後、素晴らしいハードワークをしていたF東の永井選手が次のように言っていました。

「ハードワークしないと勝てませんから」

5月5日の南の6年生はハードワークとはとても言えない試合ぶりでした。昨年のJAのような試合もできるチームなのに！！ b y 南のアンパンマン



全8試合を通じて3失点は頑張りましたが、とにかく得点力不足が目立ちました。取れる時にしっかり得点をしないとこれから上位リーグでの試合では厳しくなります。ただただゴールに向かって蹴るシュートは改善し、キーパーを抜く気持、狙って蹴るなどシュートの精度を上げましょう。また、もっと周りを観て、周りをを使う事を考えましょう。

試合によって頑張りにムラがある選手が多いです。常に全力で！後期リーグは上位リーグで戦います。厳しい戦いになりますが、みんなで力を合わせて勝ち抜きましょう！

b y 清水コーチ

